

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り			5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの見積り			7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			頻度	可能性	重篤度		リスク	頻度	可能性	重篤度	リスク	
受け入れ (建設廃棄物 ・他固形物)	搬入車輛の死角に誘導作業員が入った時、運転手に誘導作業員が見えなくなるので後方車輛に全身を巻き込まれる。	作業前の手順書確認	2	2	10 (14)	誘導員の設置	1	1	10 (12)	IV (12)		
受け入れ (廃油・化学)	ドラムキャップを外す時、ドラム内が加圧状態で液が飛散し、作業員の眼に入り薬傷を負う。	保護メガネを着用	4	4	6 (14)	・作業手順書に保護具着用の項目を明記 ・少しずつ開ける	2	2	6 (10)	III (10)	H17 9/15	
受け入れ (廃油・化学)	処理ドラムを搬送ローラーに置き、転倒機まで押して運ぶ時、搬送ローラーに足を取られ転倒し、腕を打撲する。	作業を標準化し運用 (ローラーの上には足を入れない)	4	2	3 (9)	ローラーを直線に改善	1	1	3 (5)	I (5)	H20 4/1~	
受け入れ (医療廃棄物)	ポリ容器に入った感染性廃棄物を抱えた時、注射針がポリ容器を貫き作業員の手に刺さり、感染する。	目視	2	4	10 (16)	容器を抱き抱えない	1	1	10 (12)	IV (12)		
受け入れ (他固形物)	フォークリフトでフレコンバッグに入った廃棄物をピットに投入する時、底部を開放しようとした作業員がバランスを崩し、ピットに転落し、全身を打撲する。	作業前に指差し呼称で確認	2	2	6 (10)	平らな床面で底部を開放し、その後、バックを装着したフォークリフト等でピットに投入する	1	1	1 (3)	I (3)		
受け入れ (他固形物)	トラック運転手が台費で計量する時、雨が降っていたため、濡れた足掛けから足を滑らせ転落し、全身を打撲する。	作業前に指差し呼称で確認	2	4	6 (12)	足掛けに滑り止めを施工	1	2	6 (9)	III (9)		
収集運搬(運搬・回収・清掃)												
収集運搬 (汚泥)	車輛のサイドブレーキを掛けずに離れ、車輛が動き他の作業員に接触し、全身を打撲する。	社用車安全管理規程	2	4	6 (12)	・朝礼で指差し呼称を行い注意喚起 ・車輛に「注意銘板」を貼り付け	1	1	6 (8)	II (8)		
収集運搬 (汚泥)	運転手が、運転席から飛び降り転倒し、足を骨折する。	口頭注意	2	2	6 (10)	作業手順書の遵守	1	1	6 (8)	II (8)		
収集運搬 (建設廃棄物)	コンテナ内の凸凹を直す作業で、作業員が建設廃棄物の上に直接上がり、廃棄物にはまり込み、足を打撲する。		2	2	3 (7)	廃棄物の上に行かない	1	1	3 (5)	I (5)		作業手順書の不整備
収集運搬 (建設廃棄物)	コンテナの上でシートがけ作業の時、シートでバランスを崩し作業員がコンテナから落下し、全身を打撲する。	保護具の着用	2	1	6 (9)	安全帯の使用	1	1	3 (5)	I (5)		
収集運搬 (廃油・化学)	荷台に積載した積み込み用ホースの結束が不十分で、荷台からホースが垂れ下がり、ホース内の残液が飛散し、腕に薬傷を負う。	積み込み用ホースにキャップを着ける	1	2	3 (6)	積み込みホースを車両から、切り離しホースの出入り口両方にキャップを取り付け車両に固定	1	1	1 (3)	I (3)		
回収 (廃液)	廃液を柄杓でポリ容器に積みこむ時、廃液が飛散し、作業員が手に薬傷を負う。		2	4	6 (12)	ゴム手袋をつける	1	1	6 (8)	II (8)		